

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年6月8日（火）

2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアW2
- ・旧研修棟東側

3 確認項目

- (1) 瓦礫類一時保管エリアW2の状況
- (2) 旧研修棟東側の現況

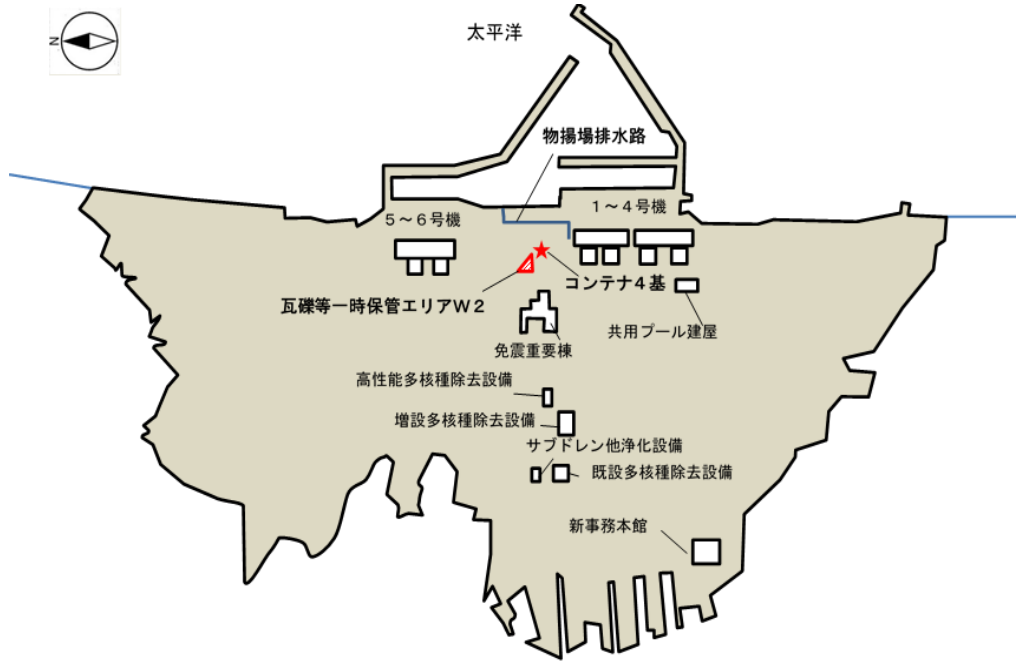
4 確認結果の概要

(1) 瓦礫類一時保管エリアW2の状況について

3月2日、物揚場排水路の簡易放射線検知器において「高警報」が発生して全ベータ放射能が高い排水が観測され、その後、東京電力が流域を調査したところ瓦礫類一時保管エリアW2において放射線量率の高いゲル状物質が確認された。（図1）

前回の現場確認（[4月26日](#)）では、ゲル状物質が確認された場所付近が再舗装され、表面には飛散防止剤が塗布されていたことから、今回、その後の状況を確認した。

- ・エリア西側に仮置きされていた土砂の搬出作業が行われていた。
- ・土砂が入れられたフレコンバッグを重機で運搬車両に積み込み、飛散防止用のシートで覆った上で搬出していた。（写真1）
- ・フレコンバッグが劣化しているものについては、土砂が飛散しないようコンテナに入れてエリアの東側に仮置きされていた。（写真1）
- ・東京電力によれば、今後、当該エリアでは仮置きされている土砂等の移設作業を行った上で、エリア全体で対策を進めていくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
前回の状況 (4月26日撮影)



(写真1-2)
今回の状況 (6月8日撮影)



(写真1-3)
積み荷の固定の状況

(2) 旧研修棟東側の現況について

旧研修棟東側の内容不明コンテナ4基が置かれていた箇所はコンテナ撤去後も土嚢が設置されており、東京電力によれば土嚢は清掃後に撤去するとされていたことから、その後の状況を確認した。(図1)

- ・コンテナが置かれていた箇所からは土嚢が撤去されていた。(写真2)



(写真2-1)

前回の状況 (4月27日撮影)



(写真2-2)

今回の状況 (6月8日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。